



No.68 2020.8.7

明石市コミュニティ・スクールだより  
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

## コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

### Meet de 対話「コロナ禍で経験して考えたこと 想うこと」

**Meet de 対話**  
「コロナ禍を経験して考えたこと 想うこと」

社会が変わる  
コロナが働いた事  
学校の向こうには？  
学校が変わる  
学びが変わる  
コミュニティ・スクールの推進  
未来を創り 社会を支える  
新たな学びと育ちのシステムづくりに向けての  
**SCRAP & BUILD**  
勉強の時代 → 学校を開く 学びを開く → 学びの時代  
学校のイノベーション

- 内容  
○今回のコロナ禍の中で現在の学校システム等に対して考えたこと、思ったこと等を交流しながら、これからの学びと育ちの仕組みづくりについて考える。  
※今後、校区の中で保護者・地域の方とこうした対話が広がればと考えています。
- 対象 明石市立学校園教職員  
※今後、校区の中で保護者・地域の方とこうした対話が広がればと考えています。
- 日時  
①令和2年8月04日(火) 15時30分～16時30分  
②令和2年8月18日(火) 15時30分～16時30分  
③令和2年8月25日(火) 15時30分～16時30分  
※①のみよりご都合の良い日をお選びください。(各回定員15名)  
(複数回参加も受け付けてさせていただきます。)
- 実施方法  
○学校配属タブレットを使用してのMeetによるオンライン対話。  
※ご自身の通信環境でご参加希望される場合はご連絡ください。
- 申込方法  
○別途学校配布の申込用紙にてお申込みください。〆切 7月27日(月)
- 問い合わせ  
明石市教育委員会 学校教育課 担当 本所・北本  
078-918-5055 内線:3417 mail:a.kitamoto@city.akashi.lg.jp

8月4日(火)に第1回「Meet de 対話 “コロナ禍で経験して考えたこと 想うこと”」をテーマに、市内の先生方がオンラインでつながり対話を行いました。こうした対話は初めてでしたがあっという間の1時間でした。

○新学習指導要領でも予測困難な時代という言葉が使われているが、その真っただ中に立たされた感じで困惑した。

○当事者意識が低かったような気がする。

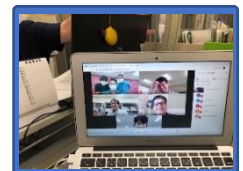
○例年通りのことをという思考回路から抜け出せなかった。

○スピード感が学校と社会とで大きな開きがある。

○一人で学ぶ力を育てられていなかったことを痛感した。

○学校再開後は出張もなく、会議も少なく、じっくり子どもと向き合うことができた。

といったことを出し合っていくことから対話をはじめていきました。その中で、中学校の先生から休業期間中にオンラインの研修を自主研修といった形で行ったという話がありました。この指とまれ形式の自主研修ということでしたが在宅からの参加も含めたくさんの先生方が参加され、使えそうという感触が持てたのではということでした。また先日校内で研修をおこなった小学校の先生からも、研修会后、タブレットブームが起こってきているとの話もあり、一歩踏み出している学校の様子を聞くことができ勉強になりました。また、来年には一人一台が実現することに対して準備をはじめると必要だが、使うことが目的になってしまうのではなく、子どもに必要な資質・能力やそれを身につける仕組みなど本質的な議論をする必要があるといった話などオンラインでも踏み込んだ話し合いが出来るんだと参加された先生方も感じられたのではと思います。そして大学に通うお子さんをお持ちの先生から大学のオンライン授業の様子を聞く中で、オンラインが特別のことではなく、普通のこととしてとらえなければならぬだけでなく、来年4月には私たちの職場にもオンライン授業で学んだ学生が入ってきたとき、彼らがオンライン授業での経験を活かせるかどうかが話題になりました。コロナが開けたドアを閉めるか、一歩踏み出せるか・・・こうした対話を8/18(火)、8/25(火)の後2回開催します。まだ余裕はありますので、たくさんの先生方に参加いただけたらと思います。そして、コロナ後の社会の学びのあり方を含めこれから学校デザインについて教職員だけでなく、保護者、地域のみなさんと対話できる場をつくっていかれたらと考えています。



明石のコミュニティ・スクールのツイッターを開設しました！

(URL [https://twitter.com/akashi\\_komisuku](https://twitter.com/akashi_komisuku))

QRコード →

(文責：北本)

